

『正しい挑戦』 no.01

日本に紙の製造法が正式に伝わったのは六一〇年、高句麗の雲徴という僧によって伝えられたとされています。奈良時代に日本に伝わった紙は不備な点や悪い点を改められながら完成度の高いものへと伸び続けていきます。

日本で紙の必要性が高まったのは、仏教のためだと言われ、写経に使う紙として益々完成度も高まりました。

日本独自の紙として和紙があります。紙は高価なもので、写経だけに使われる物でしたが、平安時代に入ると貴族などが行った和歌や漢文、書などにも使われるようになります。京都には和紙の製紙工場が建てられ、鎌倉時代、室町時代と時代が移りゆくのと同時に紙も発達していきませんが、庶民にはまだ手のとどかないものでした。

(つづく)

脳に良く効くノート。

『文字を書く』事は、脳に優しい。」と、ある医者が語っていた。特に日本語は、ひらがなやカタカナ漢字など種類が豊富で、脳の活性化に一役買っているそう。そんな、うれしい効果をより高めてくれそうな優しいノートができました。

※試作品

※試作品

[noteA]

>>COVER : yuruchip(momo),230g/ m²
>>PROCESSING : silk printing(white)

[noteB]

>>COVER : yuruchip(sora),230g/ m²
>>PROCESSING : silk printing(black)

YURUCHIP

- ゆるチップ ゆるチップ (もも) ゆるチップ (そら) ゆるチップ (くさ) ゆるチップ (ゆき) ゆるチップ (すな)
- 230g/ m²
- 全5色 (もも・そら・くさ・ゆき・すな)
- 装丁作家 祖父江慎氏のプロデュースにより、週刊マンガ雑誌などに使われている薄色紙 (せんか紙) のイメージを板紙に再現。
淡いナチュラルな色展開。本の装丁、ポスターなどに◎。



DAIWA ITAGAMI

株式会社

大阪府柏原市河原町5番32号
71-1445 FAX.072-971-1449
a@ecopaper.gr.jp
ecopaper.gr.jp

資料請求・お問い合わせは
左記までお気軽にどうぞ!